



ぜったい こたえのはじまり

げつようび

創世記
12章 1～3節

主はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる。あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。」

遠足や旅行の前日、あなたはどんな気分でしょうか。心がわくわくして、夢にまで登場しませんか。ヨセフは、ひいおじいさんのアブラムに与えられた契約が、どのようにして自分へ届いたのかを知っていました。胸がドキドキするほど、契約に対する確信がありました。ですから、奴隷や監獄のような苦しみを体験した時も、その確信のゆえに失望しませんでした。契約があれば決して失敗しないということを信じていたからです。

ポティファルから見ても、ヨセフは契約を握っていました。ポティファルは神様がヨセフとともにおられることを知りました。また、神様がヨセフのすることすべてを成功させてくださるのを見ました。のちに罪人の身分になっても、パロ王がヨセフを総理にしてくらい、契約を現した生活を送りました。

神様は、私たちにもアブラムに与えられた契約を与えてくださいました。ヨセフのように、その契約は自分の契約だということを、たしかに信じれば良いのです。そのようなレムナントに、神様が与えられる絶対答えは始まります。契約を心に留めて祈りつつ6月を過ごしましょう。

きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.



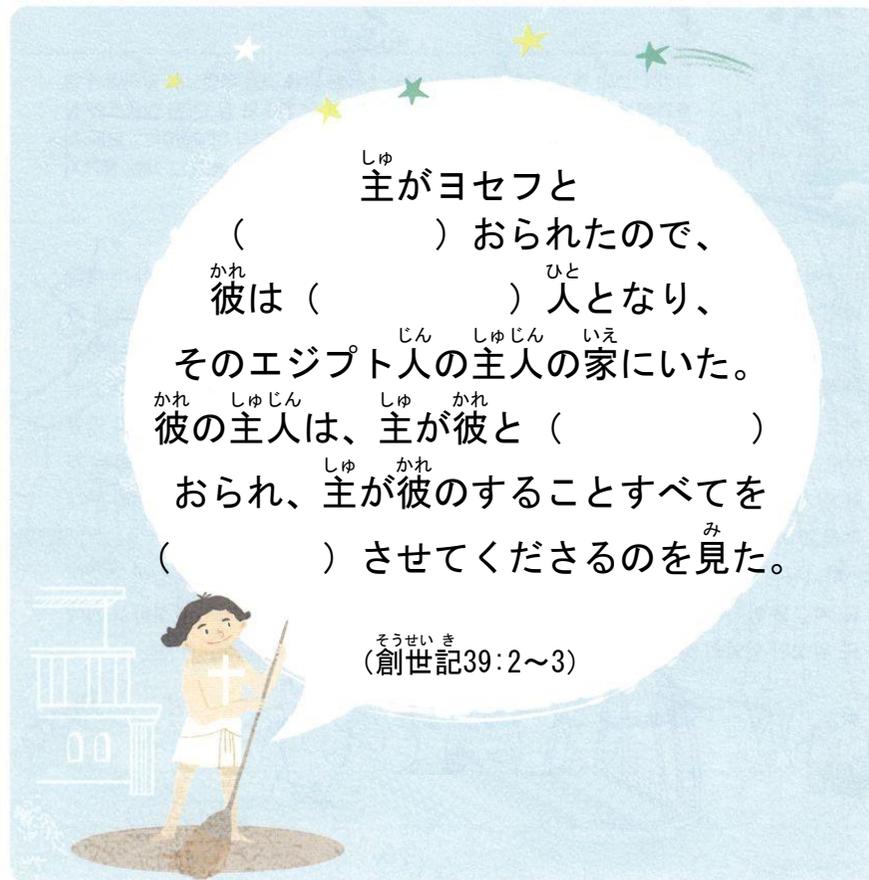
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。ヨセフのように、私に与えられた契約を信じてことができますように。絶対答えの始まりについていかに導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



() に入る単語を聖書から見つけて書いて
神様がくださる絶対答えを確認しましょう。

書いてみよう



主がヨセフと
() おられたので、
彼は () 人となり、
そのエジプト人の主人の家に行った。
彼の主人は、主が彼と ()
おられ、主が彼のすることすべてを
() させてくださるのを見た。

創世記 39:2～3

きょうのでんどう

あひと
会う人

Blank grid for writing the daily devotion.

じゅんび
準備する資料

Blank lines for writing preparation materials.

ふかのうな やくそく

創世記

15章 1～11節

彼は申し上げた。「神、主よ。それが私の所有であることを、どのようにして知ることができましょうか。」すると彼に仰せられた。「わたしのところに、三歳の雌牛と、三歳の雌やぎと、三歳の雄羊と、山鳩とそのひなを持って来なさい。」彼はそれら全部を持って来て、それらを真っ二つに切り裂き、その半分を互いに向かい合わせにした。しかし、鳥は切り裂かなかった。(8～10)

年をとったアブラハムには子どもがいませんでした。ある日、神様がアブラハムに現れて、アブラハムの子孫を大いなる民族として、またその民族によって世界中の人々が恵みを受けるようになると言われました。それまで一度も息子求めて祈ったことがなかったアブラハムに、神様が直接、計画をたてて成し遂げると言われたのです。本当にすばらしい話だったのですが、それはアブラハムにとって、とうてい信じることのできない話でした。絶対不可能な約束だと考えたのです。それゆえ、はじめから信じていた訳ではありませんでした。神様とともにいる契約の旅程を歩むうちに、神様がくださった計画は本物だということを知ようになりました。神様の力についても信じられるようになりました。後には、神様が直接その計画を成し遂げられ、その神様の力が自分に与えられていることを信じるようになりました。

神様は、レムナントである私たちに、アブラハムに与えられた世界福音化の契約を同じように与えてくださいました。今は信じられないかもしれませんが、しかし、神様はレムナントを通して完成されるでしょう。完成された契約の目標が来る時刻表を待って、今日も契約の旅程を歩んでいきましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私に与えてくださった契約のとおり、契約の旅程を歩み、神様の力を毎日生活で見まことの目が開かれますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



絵をかこう

数字の順番にしたがって、点と点を線でつないで、神様のみことばどおりに契約の旅程をはじめたアブラハムの姿を完成させましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料

03

すでに しょうりした たたかいは はじめよう

すいようび

わたしは、あなたの子孫をおびたしくふやし、あなたを幾つかの國民とする。あなたから、王たちが出て来よう。わたしは、わたしの契約を、わたしとあなたとの間に、そしてあなたの後のあなたの子孫との間に、代々にわたる永遠の契約として立てる。わたしがあなたの神、あなたの後の子孫の神となるためである。わたしは、あなたが滞在している地、すなわちカナンを、あなたとあなたの後のあなたの子孫に永遠の所有として与える。わたしは、彼らの神となる。」

創世記 17章～8節

例えば長い旅に出るとき、旅のゴールとその途中で通過する場所がすべてあらかじめ用意されているならば、安心して出発することができると思いませんか。アブラハムが契約の旅程を歩み始めたとき、神様はカルデアのウルというあなたの故郷を出て、神様が示す地に行けと言われました。そこでアブラハムは、神様がくださったみことばの約束である契約を持って出発しました。

神様は、アブラハムにくださる祝福をあらかじめ準備して、契約の旅程の中に呼ばれました。私たちの旅程にも同じ祝福が隠されています。アブラハムのように、神様の契約についていけば良いのです。そのとき、暗やみの勢力とのすでに神様が勝利された戦いを始めるようになるでしょう。

永遠の神様の計画の中にある私たちの戦いは、不信仰との戦いです。神様の契約をそのまま信じるか、信じないかの戦いだからです。アブラハムが自分の名前が変わるほど集中したように、私たちも神様の契約に集中しましょう。毎日24時間、契約を心に留めているならば、行くすべての所で神様が先立って準備されたすべての答えを受けて、霊的戦いで勝利するようになるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。すべてを準備してから、私を呼んでくださいました。神様がくださる信仰によって、現場を征服するレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



色をぬろう

神様に礼拝をささげるアブラハムに、光であらわれてみことばを
与えられた神様の絵に色をぬって完成させましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

04

もくようび

れいはいに しょうりする レムナント

創世記 13章 14～18節 そこで、アブラムは天幕を移して、ヘbronにあるマムレの檜の木のそばに来て住んだ。そして、そこに主のための祭壇を築いた。(18)

年をとったアブラハムは、若いおいのロトを頼りにしていました。神様の契約を握って契約の旅程を歩みながらも、神様のみことばのとおりにはロトと別れるのはアブラハムにとって簡単なことではありませんでした。後には、契約を信じていけないあまり、たどり着いたエジプトの地で、パロ王に妻を奪われてしまいます。それでも神様は、むしろパロ王を叱られ、アブラハムを守って下さいました。神様を体験して、ようやくアブラハムはロトと別れる決心ができました。

ロトと別れた後、アブラハムは神様がはじめて現れてくださったときの契約を心に抱いて、心からの礼拝をささげました。そのとき神様は、アブラハムが見渡している地を全部与えると、もう一度約束して下さいました。そしてさらに、アブラハムが踏むすべての土地を与えると言われました。不信仰を捨てて礼拝をささげたアブラハムを尊く思われた神様が、祝福して下さいました。

礼拝はすべての契約成就の奥義です。いま、神様がみことばで約束して下さいました契約を握って礼拝しましょう。アブラハムのように、私たちを通して神様が征服して治められる広い世の中を、私たちに見せて下さるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。毎日、契約の奥義を私 のこととして確かめる礼拝に勝利するように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



礼拝のはじめから終わりまで、すべてのプログラムには神様によって隠された意味があります。私たちの教会の週報を見て、ひとりで定刻礼拝をささげるプログラムを作りましょう。

わたし なまを
私 の名前

ていこく
定刻
れいはい
礼拝

使徒信条	告白
賛美 <input type="text"/> 番	歌う
聖書本文 創世記 13:14~18	読む
今日のみことば	聞くか読む
今日の祈り	書く
今日の伝道	書く
賛美 <input type="text"/> 番	歌う
主の祈り	告白



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび しりょう
準備する資料

05

きんようび

イサクが ささげた れいはい

創世記
26章 22～25節

主はその夜、彼に現われて仰せられた。「わたしはあなたの父アブラハムの神である。恐れてはならない。わたしがあなたとともにいる。わたしはあなたを祝福し、あなたの子孫を増し加えよう。わたしのしもべアブラハムのゆえに。」イサクはそこに祭壇を築き、主の御名によって祈った。彼はそこに天幕を張り、イサクのしもべらは、そこに井戸を掘った。

神様はアブラハムに与えた契約を成し遂げるため、息子としてイサクを与えられました。ですから、イサクは自分がお父さんアブラハムのささげた礼拝の中で生まれた者だということをよく知っていました。イサクの幼い時期に、刻印と体質を変えた忘れることのできない事件が起きました。イサクをお父さんのアブラハムがいけにえとしてささげようとしたのです。そのとき、神様があらかじめ備えてくださった雄羊を代わりにいけにえとしてささげることで、イサクは生かされて、礼拝をささげるという経験をしました。

ただ一度ささげた礼拝を始まりとして、イサクは欲でいっぱいな人々の攻撃に十分に勝ちました。彼らはイサクの妻と井戸と土地を奪おうとしました。ところが、むしろイサクは彼らに譲って、奪おうとする人々に分けてあげました。神様はこのとき、イサクをさらに祝福してくださいました。礼拝の祝福を知って体験したイサクを神様は重要に見てくださったのです。

私たちもイサクのように礼拝に勝利しましょう。契約を黙想する礼拝を通して、戦わずに勝利する祝福を経験するようになるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。戦わずに勝利するイサクの契約をもって、毎日、礼拝の祝福をのがさないレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
適用しよう

私をいじめる反だちが近くにいるなら、その反だちの心と思いについてパパやママと話をしましょう。きょう、礼拝をささげて、その反だちに正確な福音の契約を伝える準備のお祈りをしましょう。

名前：

私をいじめる理由：

パパやママの考え：

私の考え：

私の祈り：



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
しりよう
準備する資料

06

いのりの おくぎを のがさないで

どうぶ

あなたはこの地に、滞在しなさい。わたしはあなたとともにいて、あなたを祝福しよう。それはわたしが、これらの国々をすべて、あなたとあなたの子孫に与えるからだ。こうしてわたしは、あなたの父アブラハムに誓った誓いを果たすのだ。そしてわたしは、あなたの子孫を空の星のように増し加え、あなたの子孫に、これらの国々をみな与えよう。こうして地のすべての国々は、あなたの子孫によって祝福される。これはアブラハムがわたしの声に聞き従い、わたしの戒めと命令とおきてとおしえを守ったからである。」

創世記

26章 1～35節

どんな状況でも、あわてないで、その状況に対処できる人がいます。その人たちの共通点は、いつも神様を見上げる祈りに集中していたということです。この事実を知ったアブラハムの家系のレムナントも、特別な一人だけの祈りの時間を過ごしました。

レムナントがいつもその時間に黙想した3つのいのりの奥義があります。1つ目、神の子どもの身分と権威という霊的背景を味わう幸せな祈りです。2つ目、神様のかたちとして造られた霊的存在が私であるという事実を味わう祈りです。このとき、世の中が与えることのできない霊的力を受けることができました。3つ目、神の子どもの背景にある霊的事実を感謝する祈りです。アブラハムの息子イサクは、幼いときに雄羊の奥義を発見する祈りの時間を持つようになり、この奥義を味わい、刻印、根、体質が完全に福音に変わりました。また戦わずに勝つサミットの姿勢を理解して、配慮できるサミットの器も備えました。

イサクのように、神様がくださったいのりの奥義をのがさないようにしましょう。すべての人を生かすようになるでしょう。



きょうのみことば

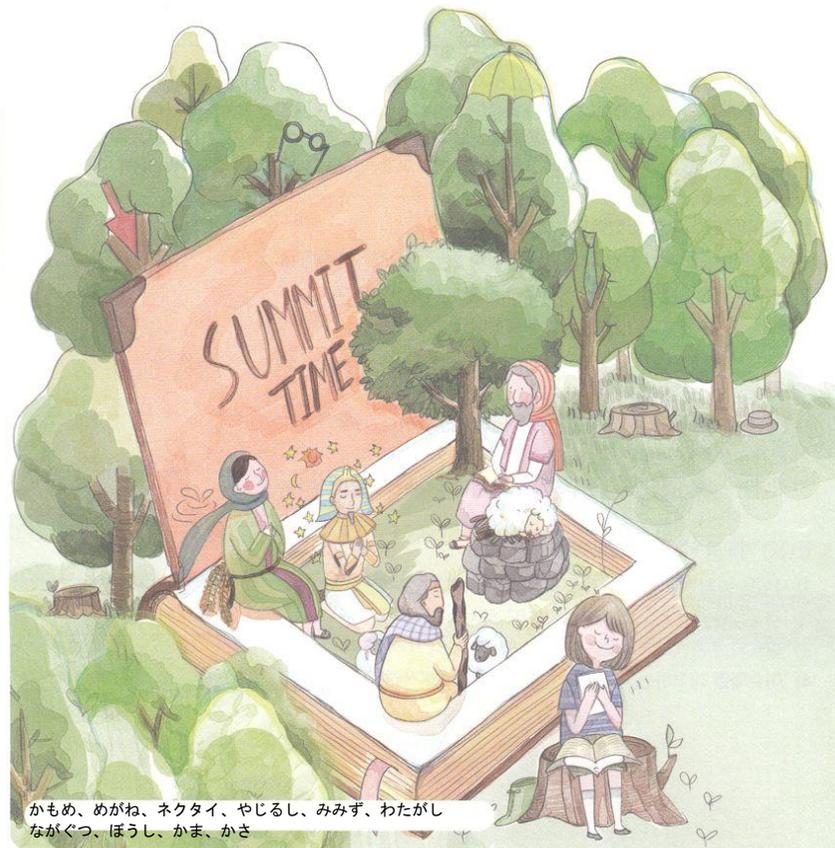


きょうのいのり

神様、ありがとうございます。まことのいのりの奥義を黙想して、すべての状況と人を生かすレムナントになるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様に礼拝するサミットタイムを通して、サミット器とサミット姿勢を整えたアブラハムの家系のレムナントたちの絵です。隠れている絵を10個みつけましょう。



かもめ、めがね、ネクタイ、やじるし、みみず、わたがしながくつ、ぼうし、かま、かさ

きょうのでんどう

あひと 会う人

じゅんびょう しりょう 準備する資料